

氏名	井上和久	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	基礎・神経・運動器・生活環境支援(地域・予防)理学療法、教育・管理				
学位	学士(社会学)、博士(医学)				
学歴	1995年高知リハビリテーション学院理学療法学科・佛教大学社会学部社会福祉学科卒業、2013年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学(博士課程)修了				
経歴	1995年田無病院、1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2014年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	(公社)日本理学療法士協会、(公社)埼玉県理学療法士会、日本臨床生理学会、臨床歩分析研究会、理学療法科学学会、日本地域理学療法学会(常任運営幹事)、日本予防理学療法学会(運営幹事)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	保健医療福祉系大学学生における規範意識とそれに影響する要因	共著	保健医療福祉科学 2015vol.5;P32-40	山本英子、平野裕子、井上和久、新井恵	2016.3
(3) 学会発表					
1	健康成人における運動効果・運動習慣	共著	第2回日本予防理学療法学会学術集会、札幌市	○井上和久、丸岡弘、原和彦	2015.12
(4) その他					
1	簡易リンパドレナージの施術前後に採取した検体の測定・検査・分析	共同	埼玉県立大学 受託研究	丸岡弘、井上和久	2015.4~2015.10
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	埼玉県立大学 奨励研究		健康成人における運動効果・運動習慣(研究代表者)		2015.4~2016.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	義肢・装具学実習	2015.5	作業療法学科の授業:義肢・装具学実習「体幹・下肢装具について」担当。主に授業は、PCによるプレゼンテーションで実施した(2コマ)。		
2	理学療法人間関係論	2015.6~2015.8	主に授業は、PCによるプレゼンテーション講義と演習形式の講義を実施した。また、毎回事前準備および授業理解を向上させるためレポート課題を課した(8コマ)。		
3	日常生活活動分析学	2015.10~2015.11	主に授業は、PCによるプレゼンテーション講義を実施し、体験学習(学内での車椅子乗車・介助)も実施した(8コマ)。		
4	義肢装具学	2015.10~2015.12	主に授業は装具について講義し、PCによるプレゼンテーションで実施した(3コマ)。		
5	看護学概論	2015.12	健康開発学科の授業:看護学概論「障害に応じた装具の使用と移動能力の改善」担当。主に授業は、PCによるプレゼンテーションで実施し、車椅子・装具・杖等の現物を元に講義を行った(1コマ)。		
6	理学療法特別演習	2016.1	主に授業は「日常生活活動学」について一部PCによるプレゼンテーションで実施し、また国家試験出題傾向の対策について講義した(1コマ)。		
(2) 演習					
1	神経障害理学療法実践テュートリアル	2015.4~2015.6	脳血管障害・パーキンソン病についてテュートリアル演習形式で8グループに分かれ実施した。4名の教員の取りまとめ・進行を行い、2クール実施した(1クール2グループ担当:8コマ)。		
2	理学療法セミナー(OSCEⅡ)	2015.4	学外の理学療法士をSPとして実施・担当(4コマ)。		
3	理学療法セミナー(OSCEⅠ)	2015.8	学外のSP研究会の方をSPとして実施・担当(4コマ)。		
4	生活環境支援理学療法学演習	2015.11~2016.1	生活環境における理学療法の介入について志向する講義・演習を実施した。演習は、臨床教育実習で担当した学生自身の症例情報を元に様々な環境を想定・提案し、発表・討論を実施した(8コマ)。		
(3) 実習					
1	臨床教育実習Ⅲ	2015.4~2015.6	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。		

2	ヒューマンケア体験実習	2015.4～2015.10	14施設(教員10名)のメイン科目責任者として、体験実習の事前会議及び打合せ会議を実施した。また、担当教員に適宜指示を促し対応した。
3	臨床教育実習Ⅳ	2015.6～2015.8	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。
4	臨床教育実習Ⅱ	2015.9～2015.11	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。
5	日常生活指導実習	2015.10～2016.2	PCによるプレゼンテーション講義と6グループに分かれ疾患別の日常生活指導の実技を実施した。また、介護福祉機器展示場に同行し、介護福祉機器の説明を実施した(23コマ)。
6	義肢装具学実習	2015.10～2016.2	授業において、実習形式で行い、義足・装具について、模擬義足体験やSHB作成などを実施した。また、実際切断者(4名)の患者さんに来ていただき、ソケットの作成を8グループに分かれ実施した(23コマ)。
7	臨床教育実習Ⅰ	2016.2～2016.3	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価の実践について確認・指導した。
(4)論文指導			
1	卒業論文	2015.4～2015.12	3名の卒業論文について抄録作成・発表および論文作成の指導を実施した。
(5)その他			
1	担当ゼミの打ち合わせ	2015.4～2016.3	1年生3名、2年生3名、3年生2名、4年生3名、計11名の担当ゼミ生について打ち合わせを行った(年2回)。また、3年生については卒業研究に向けて打ち合わせ・研究指導等を実施した(23コマ)。
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	彩の国いきがい大学熊谷学園 講演	公益財団法人 いきいき埼玉	身体バランス(平衡機能)について
2	平成27年度埼玉県立大学理学療法学科臨床教育実習指導者講習会	埼玉県立大学	臨床実習における指導方法(教育・管理)ー学生・CV・SVとの関わり方ー
3	高校出張講座(秋草学園高等学校)	埼玉県立大学	生活習慣病における予防・治療について
4	平成27年度埼玉県立大学専門職連携ベーシック講座	埼玉県立大学	チームワークを深化させる「コミュニケーション技術」
5	第8回義肢適合支援のあり方研究会	義肢適合支援のあり方研究会	断端評価・TSB採型実技
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	(公社)日本理学療法士協会	第2回日本地域理学療法学会学術集会:運営委員	2015.4～2015.12
2	(公社)日本理学療法士協会	第51回日本理学療法学会学術大会:運営委員	2015.4～現在
3	(公社)日本理学療法士協会	第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会:演題査読	2015.6～2015.7
4	(公社)埼玉県理学療法士会	第24回埼玉県理学療法学会:演題査読	2015.8～2015.9
5	(公社)日本理学療法士協会	第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会:座長	2015.9
6	(公社)日本理学療法士協会	第2回日本予防理学療法学会学術集会:演題査読	2015.11
7	(公社)埼玉県理学療法士会	第24回埼玉県理学療法学会:座長	2015.11
8	(公社)日本理学療法士協会	第51回日本理学療法学会学術大会:演題査読	2015.11～2015.12
9	(公社)日本理学療法士協会	地域包括対策本部コアコンピテンシー検討部会:部会員	2015.12～現在
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	保健委員会(2回)		
2	倫理委員会(5回)		
3	専門職連携・協働推進事業専門部会(7回)		
4	入試(社会人・推薦・後期)		
5	学科会議(41回)		
6	学科業務会議(運営担当・11回)		
7	ヒューマンケア実習室担当者会(運営担当・2回)		
8	理学療法学科実習指導者公開講座運営担当		
9	オープンキャンパス参画(6/14、8/8・9)		
10	1年生担任(前期1回、後期1回43名面談)、障害をもった学生に対する支援対応、欠席学生に対する対応		
11	男女共同参画プロジェクト(会議18回、報告会2回:うち筆頭報告1回)		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		